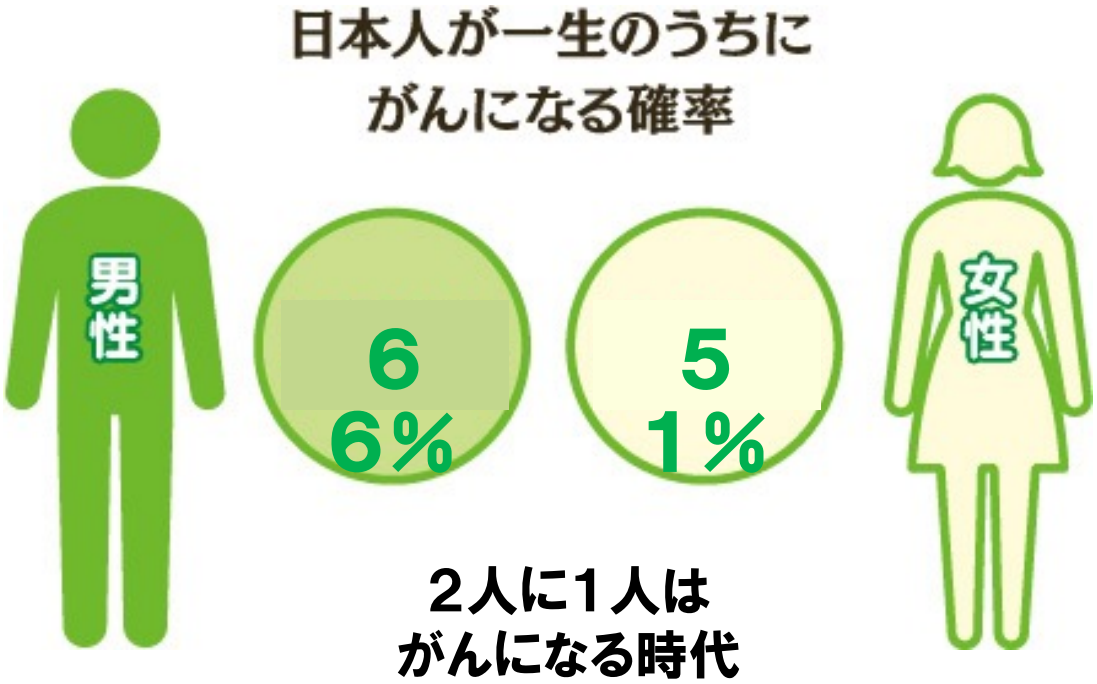
消化器がん
マイクロアレイ
血液検査
のご紹介

がん対策

生涯で2人に1人が、がんにかかるといわれている日本。病気や健康に関心は高くても、検診を自発的に受ける人が少ないことが課題となっています。
検診でがんを早期発見することは、がんによる死亡率を減少させるだけでなく、治療後のＱＯＬ（クオリティ・オブ・ライフ=生活の質）を高めるために大変重要です。
早期発見・早期治療でがんは治せるのです。



がんを早期発見するためには、がんを高い感度で検出できる確実な検査が必要となります。

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）より

がんの現状

かかる人の多いがんの順位

男性

1位　前立腺
2位　大腸
3位　胃
4位　肺
5位　肝臓

女性

1位　乳房
2位　大腸
3位　肺
4位　胃
5位　子宮

がんの現状

死亡する人の多いがんの順位

男性

1位　肺
2位　大腸
3位　胃
4位　膵臓
5位　肝臓

女性

1位　大腸
2位　肺
3位　膵臓
4位　乳房
5位　胃

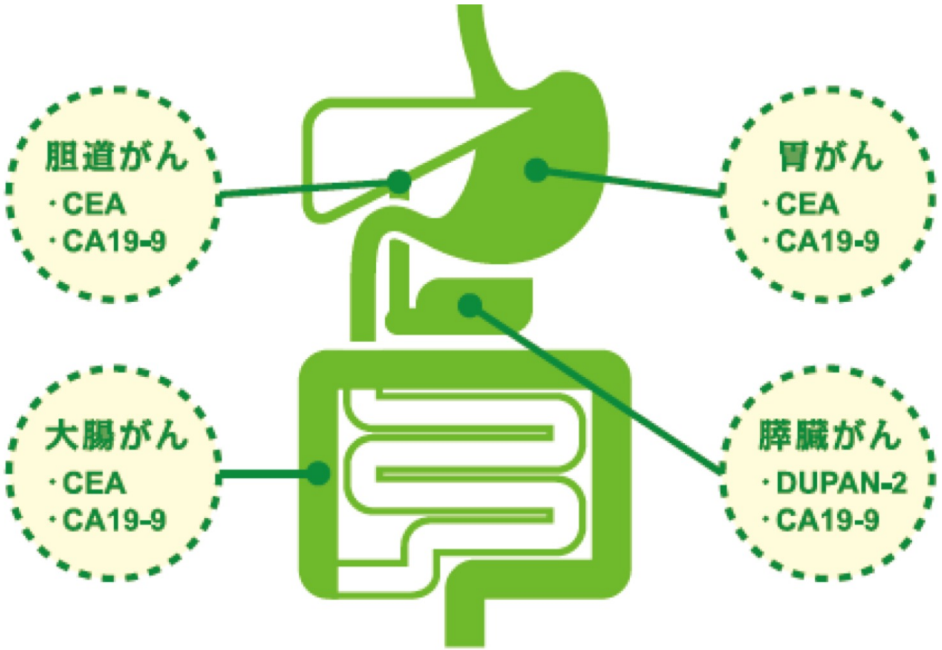
国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）より

早期発見が
一番のがん対策です。

がん検診受けてますか？

血液でわかる
がん検査はどんな
ものがありますか？

血液を使ったがんの検査の1つに腫瘍マーカーがあります。これはがん細胞がつくり出すタンパク質などを測定することでがんであるかどうかを診断するというものです。しかし腫瘍マーカー単独でがんを診断することは難しいとされ、現状ではがん診断の補助的な検査や治療後の経過観察の検査として使用されています。



新しい方法として消化器のがんを遺伝子レベルで判定できる
「消化器がんマイクロアレイ血液検査」があります。

血液でできる
がんの早期発見

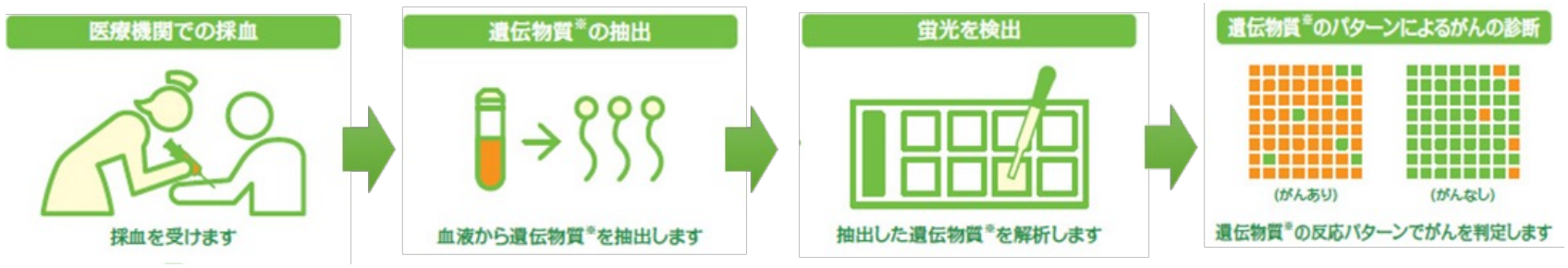
「消化器がん
マイクロアレイ血液検査」

消化器がんマイクロアレイ血液検査とは何でしょうか？

マイクロアレイとはがんなどに対する体の反応を遺伝子レベルで測定できる最新の技術です。

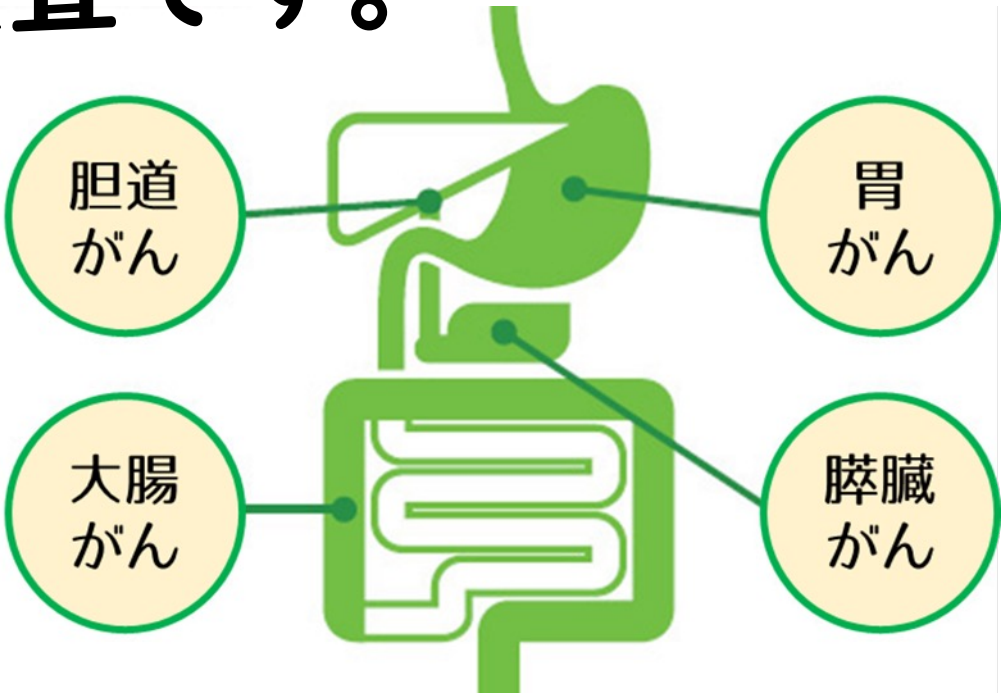
血液ががん細胞に反応する状況を世界で初めて遺伝子レベルでとらえることができるようになりました。

これを利用し開発されたのが、「消化器がんマイクロアレイ血液検査」です。



体内で発生したがんへの血液中の反応を遺伝子レベルで測定し、

今、がん（胃がん・大腸がん・膵臓がん・胆道がん）が存在する可能性を判別する検査です。



消化器がんマイクロアレイ血液検査の特長

1 高い感度

消化器のがんに対して９割の高い感度を示しています

2 同時に検査できる

胃癌、大腸癌、膵臓癌、胆道癌が検査の対象となり、一度の採血で検査できます。

3 簡単な検査方法

検査は１回の採血のみ

4 安心の検査方法

特殊な薬剤の投与もなく、Ｘ線の被爆もありません。

「消化器がんマイクロアレイ血液検査」
こんな方にお勧めします

- ☑ 時間がかかる検査は受けたくない
- ☑ つらい検査は苦手
- ☑ 膵臓がん・胆道がんが心配
- ☑ 身近にがんになった人がいる
- ☑ 新しい検査を受けたい

この検査結果は健康状態を判断するための一つのデータですので、
他の検査結果と合わせて主治医が総合的に診断することになります。

検査は採血するだけ。

消化器がんマイクロアレイ血液検査を
ご希望される方は、スタッフまで
お申し付けください。